

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : シュワクリーン (卓球ラバー専用クリーナー)
 会社名 : 日本卓球株式会社
 住 所 : 東京都千代田区神田和泉町 1-2-8
 電話番号 : 03-3862-0911
 F A X 番号 : 03-3862-0920
 担当部門 : 企画開発部

2. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学物質名	含有量 (%)	化学式又は 構造式	官報公示整理番号 化審法 安衛法	C A S N o
ポリオキシエチレン オレイルエーテル	2~4		7-97 既存	68920-66-1
ジエチレングリコール モノベンジルエーテル	2~4		7-272 既存	2050-25-1
有機窒素硫黄系化合物	0.1~		5-5235 —	2682-20-4
水	92~96		— —	—

3. 危険有害性の要約

分類の名所 : 分類基準に該当しない。
 危険性 : 該当しない。
 有害性 : 有害性は極めて低い。
 環境影響 : 水性生物に対し有害性あり。

4. 応急措置

眼に入った場合 : 直ちに清浄な流水で15分以上洗顔し、医師の手当てを受ける。
 皮膚に付着した場合 : 多量の水で洗い流す。洗い流してから水と石鹼で皮膚を洗浄する
 若し皮膚に炎症を生じた時は、医師の手当てを受ける。
 吸入した場合 : 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静、保温に努め、必要に応じて医師の
 手当てを受ける。
 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄する。可能であれば、指を喉に差し込んで吐き出させ、直
 ちに医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

消火方法 : 周辺火災の場合は、速やかに移動可能な容器を安全な場所に移す。移動不

可能な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。

着火した場合は火元への燃焼源を断ち、風上から消火剤を使用して消化する
消火作業の際は、適切な保護具を着用する。

消火剤 : 水、泡、二酸化炭素、粉末。

6. 漏出時の措置

少量の場合 : 漏出液を蓋付きの容器に回収し、その後ウェス、ペーパータオル等で拭き取る。

大量の場合 : 漏出液を土砂等でその流れを止め、安全な場所に導いた後、出来るだけ空容器に回収する。
その後多量の水を用いて洗い流す。この場合、濃厚な液が河川等に排出されないように注意する。作業中は保護具を着用する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い : 吸い込んだり、眼、皮膚、及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。

取扱いは、換気の良い場所で行い、取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の粗暴な取扱いをしない。

保管 : 換気の良い屋内で、容器を密閉して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度 : 未設定

許容濃度 : 日本産業衛生学会（1997年度版） 制定されていない。

: ACGIH（1997年度版） 制定されていない。

設備対策 : 適切な局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くにシャワー、手洗い、洗顔設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具

呼吸器用の保護具 : 通常の手扱いは特に必要ない。

手の保護具 : 保護手袋。

眼の保護具 : 保護眼鏡。

皮膚及び体の保護具 : 長袖作業着、長靴。

9. 物理的及び化学的性質

形状・色 : 無色透明液体

臭い : 無臭

融点・凝固点 : データなし

沸点 : データなし

引火点 : データなし

爆発限界 : データなし

比重（密度）	: 1. 0 0 3 (2 0℃)
粘度	: データなし
溶解性（水）	: in water, water in 共に∞
その他	:

1 0. 安定性及び反応性

安定性	: 常温、常圧では安定である。ただし、4 0℃以上の高温及び直射日光下での長期保存は品質劣化を起こすので避けること。 自己重合性なし。通常 of 取扱いにおいては安定である。
危険有害な分解生成物	: 情報なし。

1 1. 有害性情報

急性毒性（経口）	: データなし。
急性毒性（経皮）	: データなし。
急性毒性（吸入：ガス）	: データなし。
急性毒性（吸入：蒸気）	: データなし。
急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	: データなし。
皮膚刺激性	: データなし。
眼に対する重篤な損傷	: データなし。
眼刺激性	: データなし。
呼吸器感作性	: データなし。
皮膚感作性	: データなし。
生殖細胞変異原性	: データなし。
発がん性	: データなし。
生殖毒性	: データなし。
吸引性呼吸器有害性	: データなし。

1 2. 環境影響情報

生態毒性（水生生物毒性）	: データなし。
生体蓄積性	: データなし。
残留性／分解性	: データなし。
土壌中の移動性	: データなし。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 特別の処理は必要ないが、やむおえず廃棄する場合は、多量の水で洗い流す。
汚染容器及び包装	: 空の汚染容器・包装を廃棄する場合は、きれいに水洗いし、各自治体の指示に従い処理する事。

14. 輸送上の注意

国内法規制	: 消防法の危険物に該当しない。
国連分類・国連番号	: 該当しない。
輸送の特定の安全対策及び条件	: 容器の漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
IATA/ICAO	: 非航空危険物該当

15. 適用法令

国内適用法令

化学物質管理促進法	: 第一種指定化学物質	407	0.15%
労働安全衛生法	: 非該当		
毒劇物取締法	: 非該当		
消防法	: 非該当		

16. その他

引用文献

: 界面活性剂等MSDS作成ガイドライン・標準モデル	日本界面活性剤工業会
: 製品安全データシートの作成指針	日本化学工業協会

記載内容の取扱いについて

: 記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の見出しを対象としたものであって、特別な取扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を実施のうえご利用ください。記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意してください。